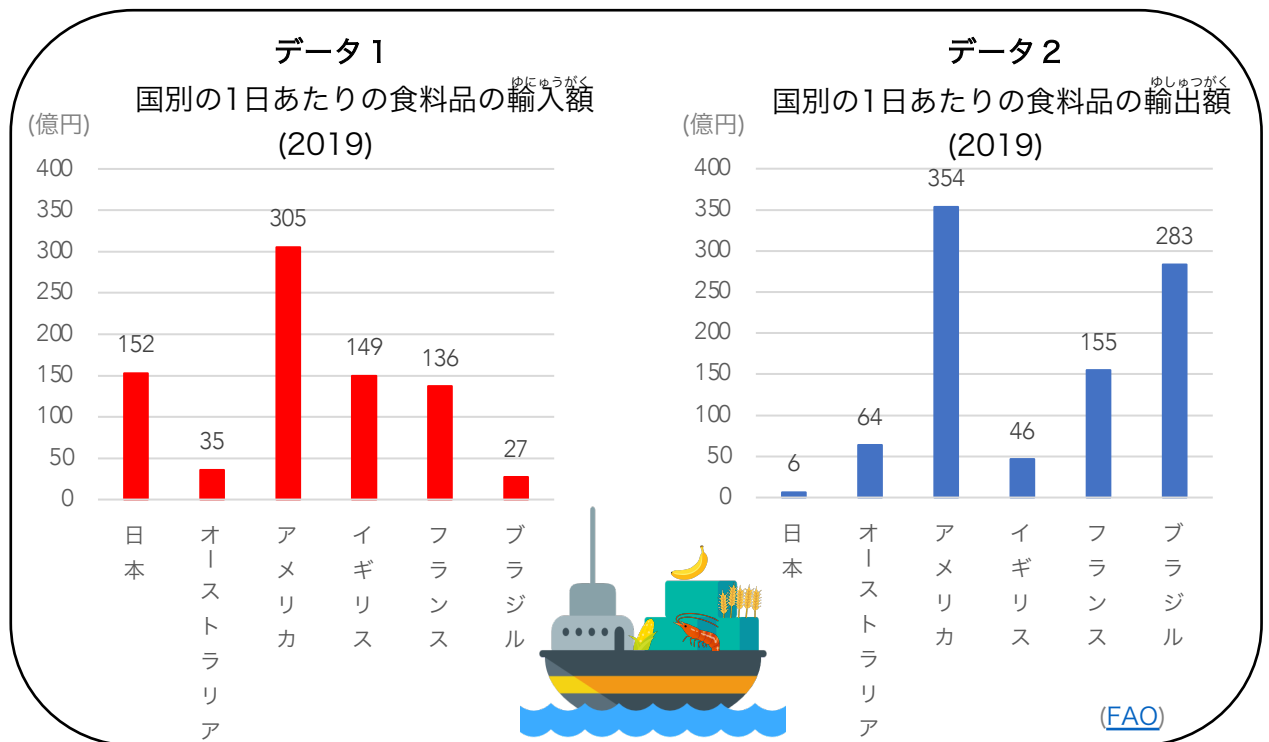


# わたしたちの生活と食料自給率

## A わたしたちは海外の食品をどれくらい買ってるの？

たけやさんは社会科で、日本の食料自給率は低く、たくさんの食料品を海外から輸入していると学習しました。たけやさんは、わたしたちがどれだけの食料品を輸入したり輸出したりしているのかを調べているときに、二つのデータを見つけました。



1. データにのっている6か国の、1日あたりの食料品の輸入額の平均はいくらですか。
2. 日本の1日あたりの食料品の輸入額は、問題1で求めた平均と比べていくら多いですか、または少ないですか。
3. 日本の1日あたりの食料品の輸出額は、6か国の平均よりも多いと思いますか、それとも少ないと思いますか。理由を言葉で説明しましょう。
4. 輸入する食料品が輸出より多い国は何か国ありますか。また、どこの国ですか。
5. データ1とデータ2から、日本の食料品の輸出入についてよりふさわしいのはどちらだと思いますか。
  - A. 輸入する食料品が多いが、輸出している食料品も多いので、海外から日本にたくさんのお金が入ってきている
  - B. 輸入する食料品が多いが、輸出している食料品はとても少ないので、海外にたくさんのお金が流出している



ほりさげて

か  
ん  
が  
え  
て  
み  
よ  
う

## B 食料自給率と環境問題

わたしたちの国は食料自給率が低く、わたしたちの食生活の多くは（<sup>1</sup>輸入・<sup>2</sup>輸出）した食料品にたよっています。

海外からの食料品は、船、飛行機や（<sup>2</sup>トラック・キャリアカー）などを使って運ばれます。これらの<sup>3</sup>輸送方法は、走行中に（<sup>3</sup>石油・電気）を消費するため、多くの<sup>4</sup>二酸化炭素を排出します。食料品を調達する場所が（<sup>4</sup>近ければ近い・遠ければ遠い）ほど、二酸化炭素の排出が多くなり、環境によくありません。

国産食品と輸入した食料品とでは、どれだけ環境へのえいきょうがちがうのでしょうか。<sup>5</sup>豆ふを例にとって考えてみましょう。下のデータは、国産大豆で一丁の豆ふをつくったときの二酸化炭素の排出量を、アメリカ産大豆でつくったときと比べています。

このデータから、アメリカ産の大豆でつくった豆ふからは、国産大豆でつくった豆ふよりも、およそ（<sup>5</sup>40・400）倍もの二酸化炭素が排出されることがわかります。

データ 大豆の産地別の二酸化炭素排出量

|                   | 二酸化炭素排出量(g) |
|-------------------|-------------|
| 国産大豆でつくった1丁の豆ふ    | 0.12        |
| アメリカ産大豆でつくった1丁の豆ふ | 49.14       |

(農林水産省)

日本は1日に平均1万トンの大豆を消費していて、そのうち国産は0.07万トンです。つまり、大豆の国産率は（<sup>6</sup>7・70）%であり、多くの大豆を（<sup>7</sup>国内で生産・海外から輸入）しています。このように、海外からの食料品が多い日本の食生活を<sup>8</sup>支えるために、多くの二酸化炭素が排出されているのです。

?

近年、多くの<sup>9</sup>地域で「地産地消」の取組が進められていますが、地産地消は環境にいいと思いますか。それはどうしてですか。

こ

た

え

- 134億円  $(152 + 35 + 305 + 149 + 136 + 27) \div 6 = 134$
- 18億円多い  $152 - 134 = 18$
- 日本の額は6か国の平均よりも少ない【理由】平均は多い方から少ない方、少ない方から多い方へとならして求める。日本は6か国の中で一番数が小さいため、平均は日本より大きい数になる
- 日本、イギリスの2か国
- B

か  
ん  
が  
え  
て  
み  
よ  
う

1 輸入 2 トラック 3 石油 4 遠ければ遠いほど 5 - 400 6 - 7  
7 海外から輸入